



歓迎をうける「ふれあいバス」

「優しい医療・楽しい職場」への想い

特定医療法人共和会
会長 加藤 仁

特定医療法人共和会は今年度64期を迎えました。私は38期から56期まで理事長として経営に携わってきました。早いもので、理事長を引退して7年が経過し、つい先日には後期高齢者の仲間入りをしました。新館が完成し、先日は私が理事長のころからの念願の大府市ふれあいバス停も設置していただきました。皆様方のご支援に心より感謝申し上げます。

今回は今から26年前、理事長就任直後のことに触れたいと思います。当時、私は経営のことは全くと言ってよいほど無知な状況であったため、私費で東京から知人のコンサルタントを呼び、助言を得つつの日々でした。まず彼からの助言は「何はともあれ理念を考えましょう」ということでした。そして、不思議にその場で出てきたのが「優しい医療・楽しい職場」でした。私は、医学部を卒業してから理事長就任に至るまで、複数の医療機関で勤務をしてきました。中でも印象深かったのは築地の国立がんセンターでした。そこでは患者さんの症例を皆で検討しあい、ディスカッションする場面がありました。ベテランの医師が若手の医師

の意見も尊重し、患者さんにとっての最善の治療を決定していました。そんな病院を目指したい、だから患者さんに優しく、職員にとっても仕事が楽しいと思える病院作りがしたい、という気持ちで自然にこの理念が頭に浮かびました。難しくなく誰にもわかりやすい言葉であることが必要であると思いました。

経営をする中でこの理念は、常に根底に流れるものとして実践してまいりました。何か困難が起きれば、それは「優しい医療・楽しい職場」の理念に反していないか、自問自答と話し合いを継続してきました。その結果退職していった職員もいますが、理念を継承してくれる多くの職員が育ってくれ、現在この法人を支えてくれていることを嬉しく思っております。

これからも共和会はこの地域の皆さまと共に、地域包括ケアの実践に向かっていきます。日本の医療の方向をしっかりと見定めながら、山本理事長のもと「優しい医療・楽しい職場」の理念を貫いていく所存でございます。これからもご支援をよろしくお願い申し上げます。

デイサービスセンター

ゆずの里

地域密着型デイサービスセンター ゆずの里は、今年で9年目を迎えました。ゆずの里で大切にしていることは、利用者様の自立支援をすることです。そのために機能訓練があり、その方の目標にあったメニューを理学療法士が作成し、それを看護師が機能訓練士となり実施しています。

またレクリエーション活動も利用者様の日々の生活機能向上につながるよう職員間でアイデアを出し合い、からだ全体を使うゲームや指先を使う手工芸を提供しています。ゲームで優勝された利用者様にはメダルをお渡しして、メダルが10個貯まると感謝状を渡しています。利用者様の中ではメダルを30個貯めた方もいて、優勝したいから頑張りたいと言われ、意欲的に取り組まれています。

開所当時より変わらず行なっている活動の中で、棒体操があります。

新聞紙（朝刊1日分）を丸め棒にしたものを使用して20分程度の体操を行なっています。

日課となっている棒体操では、利用者様はいつも真剣に取り組まれています。

これからも一日でも長く利用していただき楽しんでもらえるよう職員一丸となって利用者様の自立支援をさせて頂きたいと思っておりますので、これからもゆずの里をどうぞ宜しくお願い致します。

生活相談員 本多 和歌子



ゲートボール



機能訓練



棒体操

デイサービスセンター すずらんの里

認知症対応型・デイサービスセンターすずらんの里です。認知症対応型通所介護とは、一般のデイサービスに比べ定員12名以下と利用人数が少ないのが特徴です。そのため、臨機応変に対応でき、少人数制ならではの丁寧なケアを行う事ができます。認知症の方は新しい環境や初対面の人に馴染むことへ大きな不安やストレスを受けます。また、今まで出来ていたことが出来なくなっていくという不安や悔しさを誰よりもご本人が感じています。すずらんの里ではそうした思いに目を向け、ご本人の気持ちに寄り添ったケアに取り組んでいます。また、認知症を抱えるご家族の負担軽減にも努めており、利用の問い合わせや希望には迅速な対応を心掛けています。そうする事で認知症の方に「ここに来ると何だか安心できる。ほっとする」ご家族からは「安心して預けられる場所」と思ってもらえる施設を目指しています。認知症介護はとても難しく戸惑いも多くあります。そんな中、ご利用者の楽しそうな笑顔や「ここに来ると楽しい」「ありがとう」などの労いや、ご家族から感謝の言葉を頂いた時はとても嬉しく励みになります。これからも認知症の方とご家族の気持ちに寄り添ったサービスを提供していきたいと思っております。

生活相談員 稲垣 真弓



※写真はご利用者およびご家族の了承を得ております

「その人らしく生きる」

ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは、日本老年医学会では「将来の医療・ケアについて、本人を人として尊重した意思決定の実現を支援するプロセスである」と定義されています。つまり「最期まで本人らしく生きることを支援するプロセス」であると考えています。

「現場の職員がACPを実践し患者・家族がよりよい選択が出来ること」を目標にACP推進チームを発足しました。発足して3年目、まだまだ未成熟なチームではありますが、以下にACPに対するチーム員の想いを一部ではありますがご紹介させていただきます。

- 患者さまやそのご家族の価値観を尊重し、想いに共感して併走していきたい。
- どこにいてもその人らしい生活を送っていただけるようお手伝いをしていきたい。
- その人が考えるだろうことに最大限近く努力や工夫ができる環境を整えたい。
- 患者さまの想い、患者さまを思うご家族の想いを大切に、こうすれば良かったという後悔ではなく、こうして良かったと思えるような働きかけを行なっていきたい。

- 患者さまを思い、一緒に考え悩み、何度も話しあいながら最善の方法を考えていきたい。
- 患者さまの想いに、ご家族や職員がどのように寄り添っていくのか、そういったことを一緒に悩み考えていきたい。
- 患者さまやご家族に寄り添い、最期を迎えるその日まで相談できる場所を提供していきたい。
- 最期をどのような形で終えたいと考えておられたのか、患者さまの価値観をみんなで共有し寄り添ってきたい。
- 人生の最後に限らず、その人しかわからないその人の想いを支えていきたい。
- 患者さまが納得できる人生だったと思えるように、患者さまやご家族を大切に思い、患者さまやご家族と一緒に悩む職員がいる、そういう環境を作っていきたい。

ACP推進チームでは「後悔が残らず納得した人生を送っていただけるように、その人に寄り添い一緒に考えていきたい」ということを当たり前のように行なえる職場環境を作っていきたいと考えています。

ACP推進チーム ソーシャルワーカー 稲田 朋也



省エネチームの活動紹介

みなさんは「省エネ」と聞いてどんなことをイメージされますか？

省エネとは、「省エネルギー」の略で、石油や石炭、天然ガスなど、限りあるエネルギー資源がなくなってしまうことを防ぐために、エネルギーを効率よく使うことをいいます。

でも、それを実行しようとする、節電・節水など「セツヤク」の「節」がつく行いが思い浮かんでしまいます。チームとして活動すると、どうしても「ケチケチ」のイメージが強くなってしまいそうなので、わたしたち省エネチームは、そのようにならないように、基本姿勢を「日頃気づかない無駄を探してなくす」として、職員自らが意識することを目的としました。

まず、全職員に「使用していない部屋の照明は消すようにしていますか」「水道水を使うときはこまめに止めるようにしていますか」など普段の業務にかかせない17項目の行動でアンケート調査を行いました。

次に、毎月省エネチームの活動を報告するために「省エネかわら版」を作成しました。内容は、前述のアンケート結果の報告とともに、電気・ガス・水道の使用量、コピー機のカウント、法人公用車のガソリン給油量など「エネルギー」に関することを「見える化」してグラフで掲載しました。また、みなさんに楽しんでいただけるように、毎月のテーマに合わせた「チームメンバーから一言」「省エネ川柳」も載せています。

「省エネかわら版、毎月楽しみにしています」とのお声を頂戴したり、推移グラフの数値が少しずつでも下がったりしていると、ちょっとうれしい気持ちになります。

あと、各階の階段出入口に1階からの「消費エネルギー」を表示したら、「階段を使うと、うれしくなります」と言っていました。

さらに、ペットボトルのキャップを集めて世界の子どもたちにワクチンを届ける「エコキャップ運動」も省エネチームで取り組んでいます。キャップを燃やさずに再資源化することで、かなりのCO₂が削減されます。

これからも、職員みなさまの協力を得て、メンバーのみなで、法人エネルギー資源の削減につなげていきたいです。

省エネチーム長 近藤 啓史
(事務局 志水 俊也)

省エネ川柳
移動時に
階段使い
健康管理
詠人 省エネチーム



巨峰は大阪府の特産品です



編集後記



ようやく春の訪れが感じられるようになりました。今年の冬は寒さも厳しく、また、新型コロナウイルス感染症も大流行し、閉塞感が続いたことと思います。今現在のAIの予測によると、4月半ばには、感染もすこし下火になるとのことです。お花見には間に合わないかもし

れませんが、親しい人と集まって食事をしたり、お喋りしたり…そんな時間をまた過ごせることを楽しみに、もう少し待ちたいと思います。

広報誌委員会 豊田 佳子

ようこそ! ふれあいバス

大府市循環バス「ふれあいバス」は、昔から大府市内を中心に様々な箇所をめぐるっています。

このたび、地域のみなさと当院の希望が実り、ついに3月1日より、当院が路線に含まれました! 当院の正面玄関前がバス停です。初回は朝の8時26分! たくさんの方が降車・乗車されました。

ミニセレモニーでは、山本理事長と、大府市の岡村市長による挨拶があり、知多メディアス、中日新聞による取材も来ていただきました。

たくさんの方の期待を受け、これから地域交通のひとつとして、みなさまにご利用いただけることを願っています。



左まわり
9:26
12:36
15:46
18:56

右まわり
8:26
11:36
14:46
17:56
21:06

詳しくは
コチラ



当院が含まれるのは大府市内の大府駅、市役所、おおぶ文化交流の杜、共和駅などを繋ぐ「中央コース」紫色のバスです。当院には右図のとおり1日9回 停車しますので、ぜひご利用ください。



地域医療貢献への想いを挨拶にこめる山本理事長



桜クリニックから「診療体制変更」のお知らせです

こんにちは。名古屋市昭和区の桜クリニックです。春爛漫の季節の中、新年度がスタートし、皆さま新たな気持ちでお過ごしのことと思います。さて桜クリニックにおいても4月から、新しい診療体制をご提供することになりました。土曜日の診療時間を延長し、火曜日は短縮となります。

変更後の診療時間は下記の通りです。

月	火	水	木	金	土
休診	9~14時	9~12時 14~17時	9~12時 14~18時	9~12時 14~18時	9~14時

土曜日の診療を延長することで学校やお仕事、その他のご事情で平日にご来院が難しい患者様のご要望にお応えいたします。火曜日短縮においてはご迷惑をお掛けすることと思います。当院では、女性専用外来、睡眠外来、発達外来、心理カウンセリングなど充実した治療環境を引き続き提供し、患者様の多様なニーズに対応します。

今後も「ゆとりとやすらぎのある治療環境の提供」の理念の下、試行錯誤しご満足いただけるよう努めてまいりますのでどうぞご理解、ご協力をお願いいたします。



★ラジオ番組★

毎月 第2月曜日19:00~19:30

MID-FM 76.1

ラジオパーソナリティー
共和病院 副院長 松下直美

こころの病を持たれている方をはじめとする皆さまに
温かいメッセージをお送りします。是非お聞きください。

おもいやり共和の キラキラチアナイト

当院HIPから過去の放送分も聴くことができます。

お知らせ

8月11日(木)~8月15日(月)は、
お盆につき外来診療を休診させていただきます。



共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは

- まごころをこめてやすらぎと癒しの提供
- あなたの安心と希望ある地域生活の支援
- それぞれの専門性を活かした
最良の医療・介護サービスの提供

私たちが目指す『楽しい職場』とは

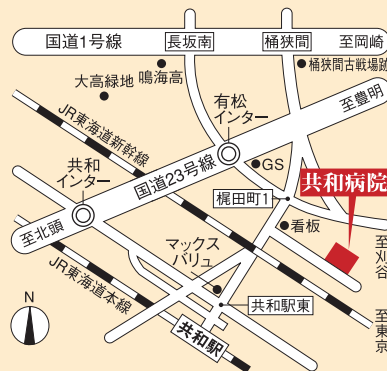
- 職員のチームワークと創造性が
高められる職場
- 職員のレベラアップと仕事の充実が
感じられる職場
- 職員の満足が皆様へ反映される職場

基本方針

~当院をご利用の皆様へ~

わたしたちは、利用者の皆様が安全かつ納得のいく医療を受けていただくことを目指し、それぞれの尊厳を大切に、思いやりのある医療を提供します。さらに、地域関係機関との密接な関係を保ち、地域の医療水準の向上に努めます。

1. あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
2. あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
3. あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることができます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
4. あなたの医療上の個人情報は保護されます。
5. あなたの社会でよりよい生活が提供されるよう、地域関係機関との連携を図ります。



特定医療法人 共和会

共和病院

愛知県大府市梶田町2-123

診療科目

内科・消化器内科・呼吸器内科・神経内科
精神科・心療内科・循環器内科・肛門外科
放射線科・リハビリテーション科・歯科

TEL.0562-46-2222(代)

URL <http://www.kyowa.or.jp/>